

令和元年度貝毒原因プランクトン出現状況 (No.6)

通報番号 (MG) - (31) - (14)

通報月日 平成31年5月7日

機関名 宮城県水産技術総合センター

調査地点	調査月日	採水層 (m)	水深B (m)	透明度 (m)	水温(°C)			塩分			貝毒原因プランクトン出現数 (細胞/L)						備考		
											<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属			<i>Alexandrium</i> spp.	
											5月7日調査	4月22日調査	5月7日調査	4月22日調査	5月7日調査	5月7日調査		4月22日調査	
荻浜内湾	5/7	0~10	11.0	5.0	0m	14.6	31.82	30	30	1,070	490	20	120	1,710	<i>D. fundibulus</i> :20				
					5m	14.2	31.82												
					10m	13.8	32.09												
					B-1	13.7	32.15												
荻浜沖合	5/7	0~10	11.0	5.5	0m	14.0	31.74	30	40	1,970	1,170	30	140	3,960	<i>D. fundibulus</i> :20 <i>D. norvegica</i> :10				
					5m	14.0	31.78												
					10m	13.3	32.14												
					B-1	13.1	32.30												
塚浜	5/7	0~20	27.0	11.0	0m	9.0	33.13	40	0	40	0	0	0	0					
					5m	8.8	33.19												
					10m	8.2	33.48												
					20m	8.0	33.62												
					B-1	8.0	33.61												

※強風のため、荻浜沖合の調査点は通常より岸側で実施しました。

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン *Alexandrium* spp. は荻浜内湾で120細胞/L、荻浜沖合で140細胞/L確認されました。
- ・下痢性貝毒原因プランクトン *D. fortii* は荻浜内湾及び荻浜沖合でそれぞれ30細胞/L、塚浜で40細胞/L確認されました。一方、*D. acuminata* は荻浜内湾で1,070細胞/L、荻浜沖合で1,970細胞/L、塚浜で40細胞/L確認されました。
- ・表面水温は荻浜で14.0~14.6°C (前回11.4~12.5°C)、塚浜では9.0°C (前回8.9°C) でした。
- ・次回の調査は5月13日を予定しています。

担当:環境資源チーム 増田
TEL:0225-24-0139,FAX:0225-97-3444

次に十三浜, 雄勝, 谷川の貝毒原因プランクトン情報を掲載します。

貝毒プランクトン参考情報

調査地点	調査月日	採水層(m)	貝毒原因プランクトン出現数 (細胞数/L)						備 考	
			<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	<i>Alexandrium</i> spp.		
			5月7日調査	4月22日(前回)調査	5月7日調査	4月22日(前回)調査	5月7日調査	5月7日調査		4月22日(前回)調査
十三浜	5/7	1	—	—	—	—	—	—	—	採水無し
谷川			10	0	10	0	10	10	20	県漁協採水
雄勝			0	0	10	0	0	30	0	県漁協採水

県漁協の採水による十三浜，雄勝，谷川の貝毒プランクトン情報をお知らせします。

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン *Alexandrium* spp. は谷川で10細胞/L，雄勝で10細胞/L確認されました。
- ・下痢性貝毒原因プランクトン *D. fortii* は谷川で10細胞/L， *D. acuminata* は谷川及び雄勝で10細胞/L確認されました。

次の図にこれまでの調査結果を示します。

・これまでの調査結果

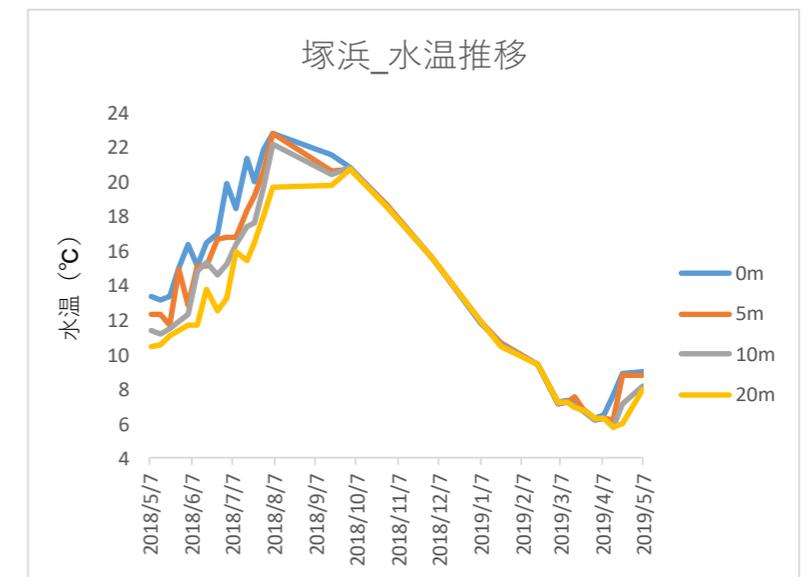
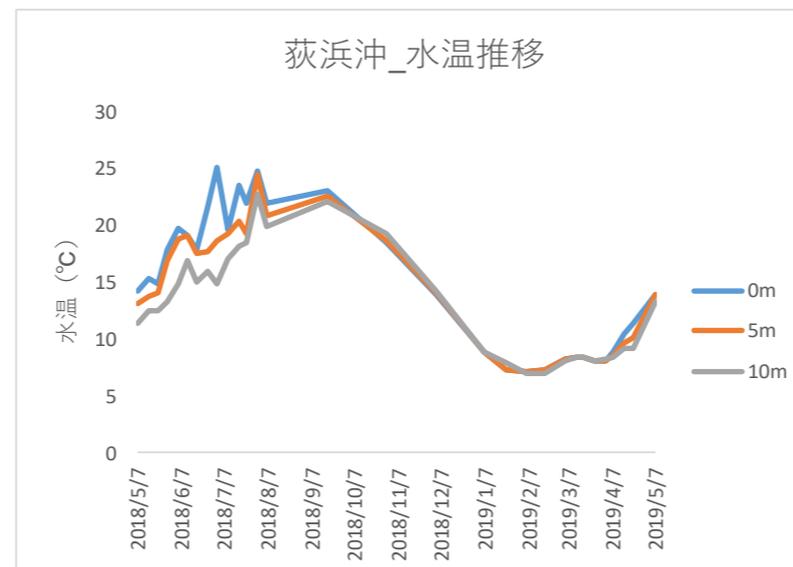
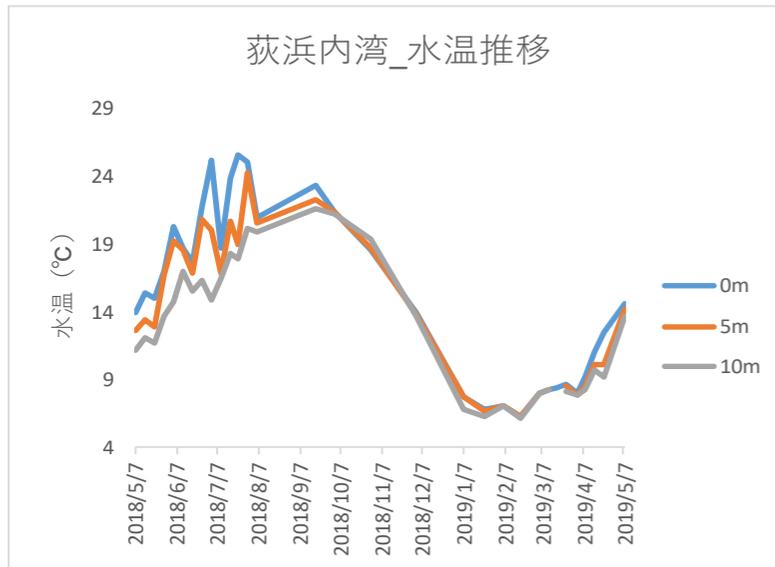


図 荻浜内湾・荻浜沖、塚浜の水温の鉛直分布

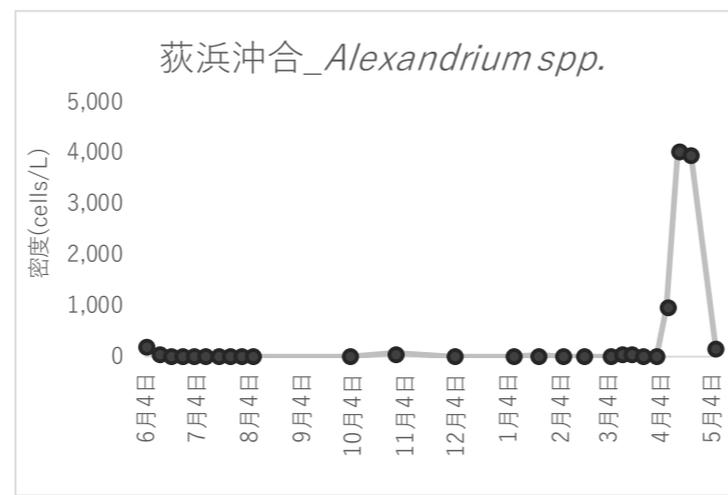
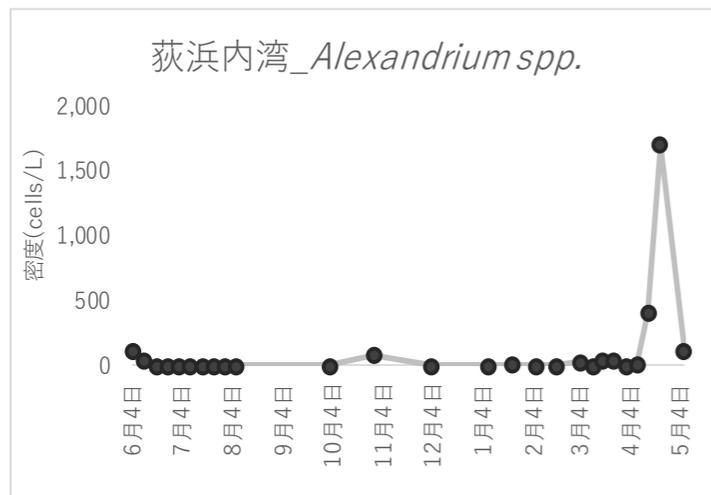


図 荻浜内湾・荻浜沖、塚浜の麻痹性貝毒プランクトン細胞数密度の推移